

すくすく

えこちるっこ！ ふくおか



—第14号 2015年新春—



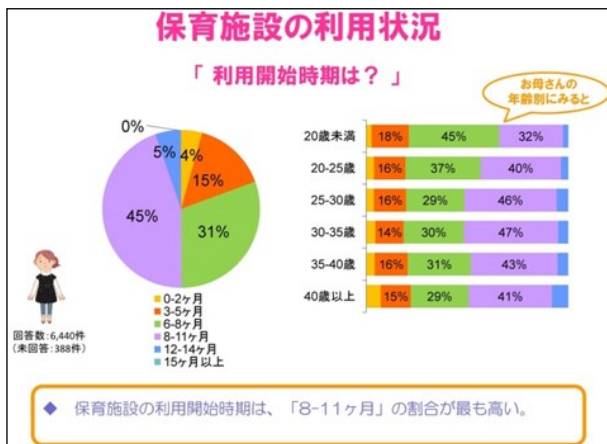
エコチル調査にご参加のみなさまへ

エコチル調査にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。
エコチル調査に参加して頂いているお母さんは10万人、お父さんは5万人を超え、またお子さんもまもなく10万人に達する見込みです。
これもみなさまのご協力のおかげです、心より感謝申し上げます。

さて、今回はエコチル調査で集計されたデータの中から、出産後の保育施設の利用状況と就労についてご紹介いたします。これらは、第3回エコチル調査国際シンポジウムで公開され、2013年10月15日までに登録された全国の2万5千人以上のデータを用いて集計されたものです。

福岡ユニットセンター
にご登録の参加者数
(H27.1.5現在)

7,691名



(図1 保育施設の利用状況)

お子さまが1歳の時点で、お母さんの約4分の1が保育施設を利用されています。その利用開始時期で最も多かったのは、図1のように8～11か月時で、その次に6～8か月時でした。年齢が若いお母さんほど、早くから保育施設を利用する傾向があるようです。

また、1週間の労働時間については、図2のように週40時間以上働いているお母さんも約2割おられる、という結果が得られています。

さらに、図3のようにお母さんの約4割は仕事に就いており、雇用形態としては常勤が多く、パート・アルバイトがそれに続いています。

すくすく えこちるっこ！ ふくおか

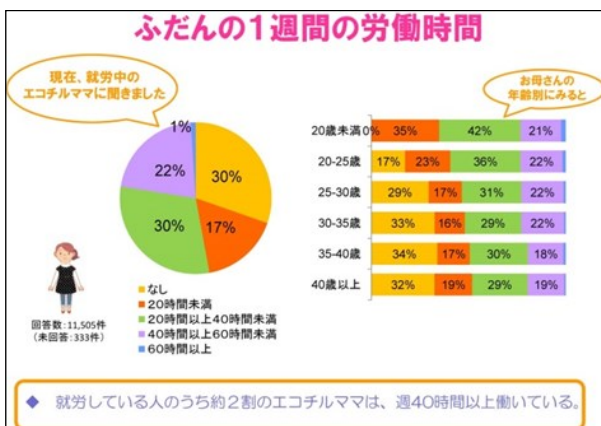


平成27年1月15日発行

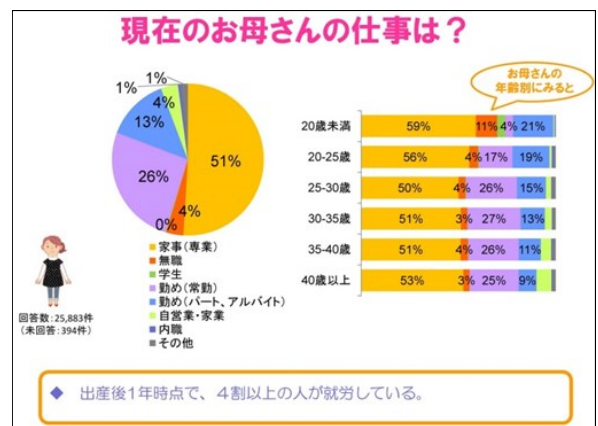
エコチル調査の目的は、「生活環境の中にある化学物質が子どもの成長にどのような影響を及ぼすか」を調べることですが、子どもの生活習慣だけでなく、お母さんをはじめとした周囲の方々の情報も広く調査されます。

このような情報は、子どもの成長とは一見無関係のようですが、間接的にも何らかの影響を与えている可能性があり、今後研究の結果をきちんと出していくためには必要な情報となります。

子どもたちが健やかに成長できる未来のために、今後もエコチル調査にご理解とご協力をお願い申し上げます。



(図2 1週間の労働時間)



(図3 お母さんの就労状況)



こどもの病気の基礎知識 ～インフルエンザ～

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症です。

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が急に現れ、感染力も強いのが特徴です。まれに脳炎や肺炎といった重篤な合併症を起こします。日本では毎年11月～翌年4月に流行がみられます。

治療は抗インフルエンザ薬で、現在利用可能なのは内服薬のタミフル、吸入薬のリレンザ、イナビル、注射薬のラピアクタです。いずれもインフルエンザが感染した細胞から出て広がるのを防ぐ薬ですので、発症から48時間以内の投与が勧められています。

インフルエンザは、基本的には風邪と同様に自然に治る病気です。インフルエンザを発症しても、発熱後12時間までは検査で陰性になることがありますので、焦って発熱後すぐに受診するより、自宅で安静にし、様子をよく観察しましょう。

ただし、呼吸が苦しい、意識がおかしい状態が続く、けいれんが起こった、などの場合は重症の可能性があるので、速やかに医療機関を受診しましょう。

予防として効果が期待できるのは、インフルエンザワクチンの接種です。他のワクチンとは異なり、インフルエンザを根絶するほどの効果はありませんが、インフルエンザの発症を予防したり、発症後の重症化や死亡を防ぐことに関しては、一定の効果があるとされています。流行シーズンを迎える前の10～11月頃に、13歳未満のお子さんは2回、原則として2～4週間の間隔をおいて接種することをお勧めします。

-インフルエンザと診断されたら-

自宅でできるだけ安静にし、処方された薬を指示通り内服し（吸入薬もあります）、栄養と十分な睡眠をとりましょう。水分補給はお茶、スープ、ジュースなど何でも結構です。

抗インフルエンザ薬で熱が下がっても、他の人に感染する力があります。

出席停止期間は、『発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで』となっていますので、油断せずに感染防御に努めましょう。



Q&Aコーナー～みなさまからのよくあるご質問～

Q.転居の場合はどうしたらいい？

A.転居されても調査はご継続いただけます。

質問票に同封されている登録内容変更届をご返送いただくか、下記フリーダイヤルまでご連絡をお願い

Q.質問票回答の際、回答したくない質問、わからない質問がある場合は？

A.質問票の番号にX印をご記入ください。

X印をご記入でない場合、回答漏れとして再度ご記入をお願いしたり、お電話にてお問い合わせをさせていただきます場合がございます。

(※ただし、質問票の記入日・お子さまの身長・体重は調査の基本となる項目ですので、必ずご記入をお願い致します。)

みなさまへのお願い ～フリーダイヤルをご利用ください～

質問票に関するお問い合わせなど、みなさまからのご連絡は下記フリーダイヤルまでお願いいたします。また、事務局からみなさまへご連絡をさせていただく際にもこの番号からおかけしますので、ぜひご登録をお願い致します。



【九州大学エコチル調査事務局フリーダイヤル】

0120-155-539

(※携帯・PHSからもご利用になれます。FAXも送信いただけます。)

引き続きエコチル調査へのご協力をどうぞよろしくお願い致します。

■発行

九州大学エコチル調査事務局内
すくえこ編集部

〒812-8582

福岡市東区馬出3-1-1

九州大学コラボステーションII 701

TEL/FAX: 0120-155-539

(フリーダイヤル: 携帯・PHS
からもご利用いただけます)

